

2026年2月27日

各位

SBIホールディングス株式会社
Startale Group Pte. Ltd.

**SBIホールディングスと Startale Group、日本初の信託型
日本円建てステーブルコイン「JPYSC」を発表**

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾吉孝、以下「SBIホールディングス」）、と Startale Group Pte. Ltd.（本社：シンガポール、代表：渡辺 創太、以下「スターテイル」）は本日、共同開発を進めている日本円ステーブルコインにつきまして、ブランド名称を「JPYSC」とすること、およびそのロゴを発表いたしましたのでお知らせいたします。

本発表は、日本国内およびグローバル市場において、規制に準拠したデジタルファイナンスの進展における大きな節目となります。

日本円の
ステーブルコイン
JPYSC
ジェイピーワイエスシー



JPYSCは、日本の金融規制の枠組みに基づき、信託銀行である新生信託銀行株式会社が信託型の3号電子決済手段として発行するステーブルコインです。既存の金融システムとブロックチェーンネットワークをシームレスに接続する設計となっており、国際的に信頼される「デジタル円」の基盤構築を目指します。

本プロジェクトにおいて、暗号資産交換業および電子決済手段等取引業を営むSBI VCトレード株式会社が主要な販売パートナーを務め、スターテイルがコアパートナーとしてプロジェクトを主導しています。

なお、JPYSCの正式ローンチは、関連する規制・制度への対応体制の整備を前提として、

2026 年度 1Q を目指しております。

JPYSC : グローバルスケールを見据えたデジタル円

SBI ホールディングスとスターテイルの戦略的パートナーシップにより誕生した JPYSC は、以下の特徴を備えています。

- **高い市場の関心**： 主要金融機関や大手企業から強い関心が寄せられており、実務決済、資金管理、クロスボーダー決済（国外送金）など幅広い用途での活用が期待されています。
- **規制に準拠した設計**： 信頼性の高い信託型の 3 号電子決済手段として、関連法令および金融規制に準拠します。
- **エンタープライズ向け決済機能**： 機関投資家レベルの大規模取引やトークン化資産の決済にも対応可能な設計となっています。
- **グローバルな相互運用性**： デジタルエコシステムを横断し、従来の金融システムとブロックチェーン基盤をシームレスに統合します。

信頼の象徴「ブルー・マーク」

今回発表した青色のロゴは、伝統的な金融とブロックチェーンを繋ぐ信頼性の高いデジタル円としての役割を象徴するものです。「信頼」「安定」「安全」、そして「グローバルな繋がり」という JPYSC の中核的価値を表現しています。

SBI ホールディングスとスターテイルは、今後も規制に準拠したデジタルファイナンスの新時代のインフラを構築し、オープンかつ効率的で、世界的に信頼される金融プロダクトの提供を通して、社会をオンチェーンへと導いてまいります。

■SBI ホールディングスについて

SBI ホールディングスは、金融サービス、資産運用、PE 投資、暗号資産、次世代事業など、幅広いビジネスを展開する日本有数の総合金融グループです。1999 年の設立以来、SBI グループはインターネットを基盤とした証券、銀行、保険をカバーする金融生態系を構築し、イノベーションと戦略的投資を通じてグローバルに事業を拡大し続けています。

■スターテイルについて

Startale Group は、「世界をオンチェーン化することで、次の文明を創る」をミッションとする、日本発のグローバルフィンテック企業です。SBI ホールディングスとともにトークン化資産の取引基盤を構築する他、ソニーグループとの合弁会社 **Sony Block Solutions Labs** を通じて **Soneium** を共同開発するなど、次世代の金融・社会インフラの創出に取り組んでいます。また、独自プロダクトとして「**Startale App**」を開発・提供しています。**Startale App** は、**Soneium** エコシステム上の多様なオンチェーン体験をシームレスにつながるスーパーアプリで、誰もが簡単かつ安全にオンチェーンの世界を楽しめる環境を実現します。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部: 03-6229-0126

Startale Group メディア様向け問い合わせ先: marketing@startale.com